



Korean Chamber Orchestra (旧ソウルバロック合奏団)

Korean Chamber Orchestra(KCO)は2015年に創設50周年を迎え、旧名ソウルバロック合奏団からKCOという新しい名前に生まれ変わりました。世界を舞台に活発な演奏活動を行っているKCOは、世界的巨匠作曲家である「クシシュトフ・ベンデレツキ」と世界的ヴァイオリニスト「キム・ヨンウク」が芸術顧問を務めています。パリ・ユネスコ会館(1999年)、アメリカ・ニューヨークUN本部(2000年)での公演を経て「UN公式平和の室内楽団」に認定され、今までに国内外で658回を超える公演を行いました。バロック時代から現代に及ぶ幅広いレパートリーを持ち、計17枚のCDを発売するなど、韓国レコーディングのレベル向上とクラシック人口の拡大に大きく寄与しています。

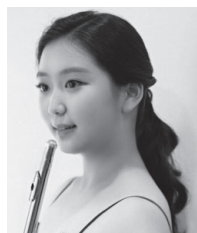
今年創設54周年を迎えたKCOは、世界の主要公演会場であるロンドン・Southbank Centre-Queen Elizabeth Hall、ベルリン・Konzerthaus、モスクワ・Great Hall of Moscow Conservatory、ウイーン・Muzikvereinから招聘を受け公演を行い、ポーランドワルシャワで開催された第19回ベートーベン・フェスティバル(The 19th Ludwig van Beethoven Easter Festival)と中国北京NCPA主催のMayフェスティバルに韓国を代表する室内楽団として公式招聘され高い演奏力を披露しました。今もチャレンジ精神溢れる演奏内容で世界を舞台に活躍しています。また、ニューヨークCarnegie Hall(Issac Stern Hall)、ボストンNew England Conservatory Jordan Hallでも招聘公演を行いました。2018年5月KCOは、ドイツで開催された第31回Eckelshausener Musiktagから招聘を受け、現地メディアからは「世界的レベル(World Class)のチャンパーオーケストラ」という好評を得ました。また、韓国国内では初めて138回に及ぶ海外招聘公演を行った演奏団体となりました。



音楽監督・リーダー **キム・ミン** Min Kim, Music Director & Leader

韓国の音楽界で最も多彩な経歴を誇るヴァイオリニスト「キム・ミン」はソウル芸術高等学校、ソウル大学音大、ドイツハンブルク国立音楽院を卒業し、ケルン室内楽団の楽長及びソリストとして活動しました。また、ベルリン・ラジオ・シンフォニーでも活躍するほか、韓国人としては初めてドイツバイロイト・フェスティバル・オーケストラで30年間(1977-2008)活動しました。1979年に国立交響楽団の楽長に任命され、1981年から1994年まではKBS交響楽団の初代楽長を務めました。1980年にはソウルバロック合奏団を再創設し、世界から136回も招聘を受けた韓国を代表する室内楽団の代名詞に創り上げました。

第2回イミルク賞、第10回ウキョン文化芸術賞を受賞し、ドイツバイロイト・フェスティバル総監督Wolfgang Wagnerから韓国人としては初めて「20年連続音楽祭参加感謝状」を受けました。また、ポーランド政府より音楽交流への功労を認められ「ポーランド文化勲章」を受章したほか、イタリア大統領より「A Life of Music」証書とメダルを授与されました。2015年、文化芸術発展功労者として韓国文化体育観光部より「宝冠文化勲章」を受章し、そのほかにも第10回デウォン音楽賞大賞、新産業経営院から第31回21世紀大賞の企画部分大賞を受賞しました。また、クイーンエリザベス国際コンクール(2009、2012)、ドイツレオパルト・モーツァルト国際ヴァイオリン・コンクールなど世界有数の国際コンクールの審査委員に20回以上選ばれました。ソウル大学音大学長(1999-2005)、コリアン・シンフォニーオーケストラ音楽監督(2003-2007)、ソウル国際音楽祭(SIMF)芸術監督(2011-2015)を歴任した後、現在は大韓民国芸術院正会員、ソウル大学音大名誉教授、KCO及びユニサン・アンサンブルの音楽監督、ソウル中央音楽学院理事長を務めています。音楽祭(SIMF)芸術監督(2011-2015)を歴任した後、現在は大韓民国芸術院正会員、ソウル大学音大名誉教授、KCO及びユニサン・アンサンブルの音楽監督、ソウル中央音楽学院理事長を務めています。



フルート **ハン・サンウン**
Sang Eun Han, Flute

フルーティスト「ハン・サンウン」は現在芸苑(イェウオン)中学校3年生であると同時に、韓国芸術英才教育院に所属しております。ハンはいさい頃から音楽の才能を発揮しており、14歳で第14回仙台フルート・コンクール成人一般部で韓国人としては初めて1位(最年少1位)に輝きました。また、第3回ドイツベルリン・ライジングスター国際コンクールでも1位を取るなど世界でも見事な活躍ぶりを見せてくれています。フランスニースで開催された国際キャンプでは優秀学生に選ばれ公演を行い、ドイツベルリンのPhilhamonic Kammer Musiksaalにも出演しました。

韓国国内の権威ある様々なコンクール(梨花京郷コンクール、音楽春秋コンクール、ソウル大冠岳同門コンクール、音楽教育新聞社コンクール、全国新鋭音楽コンクールなど)でも1位を獲得しており、2018年にはアジアナ財団クムホ英才に選ばれ、クムホ英才独奏会を成功裏に終えました。今まで、KCO、ソウル・グランド・フィールハーモニーオーケストラ、ソウル・ナショナル・シンフォニーオーケストラ、キンポ・フィールハーモニーオーケストラ、KNIGAシンフォニーオーケストラなどと共演を果たしております。



クラリネット **藪田 果林**
Karin YABUTA, Clarinet

福岡県北九州市出身。昭和音楽大学卒業、同大学研究科修了。これまでにクラリネットを永易英夫、関口仁、野田 祐介、太田友香の各氏に師事。第34回ヤマハ新人演奏会出演。第33回日本管打楽器コンクール3位入選。第28回日本木管コンクール4位入選。第25回ブルクハルト国際音楽コンクール1位優勝。現在、都内のオーケストラや吹奏楽で活動しています。テアトロ・ジーリオ・ショウワオーケストラ団員。

賛助出演 **テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ**

- | | | |
|---------|--------------|--------------|
| <フルート> | 五十川瑠花 | 遠藤 優衣 |
| <オーボエ> | 炭崎 友絵 | 牧本 知穂 |
| <ファゴット> | 殿村 和也 | 青木 良典 |
| <ホルン> | 葛西 亮 | 比嘉 美月 |

昭和音楽大学が、卒業生を中心にキャリア支援の一環として2010年4月に設立したオーケストラ。年2回の定期演奏会、年末に開催している第九演奏会のほか、優秀な成績を収めた学生が出演する「コンチェルト定期演奏会」などの学内行事や、オペラ・バレエ等の外部団体の公演など、年間20回以上の公演に出演し、高く評価されている。美しさと自然な響きを備えた劇場「テアトロ・ジーリオ・ショウワ」を本拠地として、古典から現代までのシンフォニー・オペラ・バレエ・ミュージカル等の公演など、多岐にわたる活動を展開し、多くの聴衆に感動を届けている。

◆ 公演に関するお問合せ先
株式会社ブレラーディオ ☎ 044-953-2105 (平日10:00~17:00)